

# 報 告 書

( 佐々木豊治 班 )

開 催 日 時	平成 27 年 10 月 14 日 19:00～20:30		
開 催 場 所	弥栄会館		
出 席 議 員	原田義則議長、佐々木豊治、田畑敬二、牛尾昭、 柳楽真智子、小川稔宏、飛野弘二、		
	司会者	佐々木豊治	
		田畑敬二、牛尾昭	
	記録者	小川稔宏、柳楽真智子、飛野弘二	
参 加 人 数	2 4 名		
主な要望・提言等	<p><b>メインテーマ：地域農業とまちづくりを充実するには？</b>  <b>サブテーマ 新規就農と定住化対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他県から研修生制度で浜田市に来て、2年間の研修後に就農しているが、人間関係も上手くいっている。</li> <li>○ 新規就農は研修が終わって立ち上げてからが大変。</li> <li>○ 研修生の受け入れに関わってきたが、半農半Xの人が多く、どちらかと言えばXの方が主のように感じた。</li> <li>○ 新規就農の受入れが柱だと思うが、他にも産業が必要だと思う。都会に無いものを求める若者も増えているが、仕事が無ければ人は集められない。</li> <li>○ 産品にどう付加価値を付けるかが大事だと思う。付加価値を付けて、販売に関しては販売グループをつくり、専属のスタッフが必要だと思う。</li> <li>○ 中山間地で収量は少なくても、価値のある野菜作りの提案が必要。</li> <li>○ 自社で価格決定できる産品を出荷できる仕組みづくり。</li> <li>○ 地元の人が地元産品の良さを分かっていない。まずは、地元の人が良さを見直すことも必要だと思う。</li> <li>○ Iターンだけでなく、弥栄の子どもたちに帰ってきてもらう環境を整え、Uターンの促進を考えるべき。</li> <li>○ 研修生をどんどん入れてほしい。</li> <li>○ 米なら「弥栄ブランド」を確立して単価を上げる。又、それ以外の作物をブランド化して、収益性を高めること</li> </ul>		

に注力してほしい。

- ハウスにかかる固定資産税を下げてほしい。
- J Aの営農指導をしっかりとやってほしい。
- 地産地消の取組みが進めば、収益も上がると思う。
- I ターンだらけになると、弥栄らしさが薄れるのではとの心配もある。

現状では、他者に新規就農を勧めるのは難しい。

#### サブテーマ：弥栄米のブランド化について

##### 【議論で出された主な意見】

- 経費を抑えて高く売るのは難しい。
- エコ、有機米、減農薬など生産方法や値段、品質を詰めないといけない。色選は常識になっている。
- ブランド化は生産者からは決められない。  
田植え前に消費者と価格、生産量を話し決めている。棚田など生産の実情を見てもらい田植え、手刈りも体験してもらっている。
- 全員がこっちを向いて同じ方法というのは難しい。  
一定の基準の統一は必要だがロットも必要。
- 値段をこれ以下では作らないということ。  
安売り競争をし出したらダメ。
- 今ある条件で高く売するために、お互いに譲歩の協定が必要ではないか。
- 再生産できることが重要。若い人が米作りでやっていけないと、やれと言っても難しい。安定価格の維持が大切。
- おいしさを知ってもらうために、広島でおにぎりを配る。

##### 【付箋に書いていただいた意見】

- 弥栄米で弥栄内自給率を 100%にする。  
日本で一番価格の高い米を作る。  
はぜかけ米を極めていく。機械化もする。
- 生産方法を統一する。  
弥栄米ということを、メディアを通じて広報する。
- ブランド化は必要。ブランド米生産組合を作って価格をしっかりと検討して商品化する。  
ダンピングはやめる。中核組織となる。
- 栽培方法の統一化。美味しく安全な米の生産。

	<p>色選の利用。再生産出来る価格での販売。</p> <p>○生産者が再生産の出来る価格を 30 kg 8,000 円～9,000 円を維持。生産栽培基準を設定。</p> <p>○ブランド化にするのにはネタが必要ではないか。</p> <p>連携協議会で一定の基準作りをする必要があると思う。</p> <p>J Aとの関係はどうするか。</p> <p><b>サブテーマ：農業を維持するための経費削減について</b></p> <p>要望、提言内容</p> <p>○人手不足で困っている。これを解決するため機械化する必要があるがその機械開発の支援をしてほしい。(野菜農家)</p> <p>○転作で野菜を作っているが畔があるため草刈が困難畔を取り除いても補助金が出るようにしてほしい。</p> <p>○有機エコ栽培しているが、機械除草に課題があり機械改良をしたいが指導と支援をしてほしい。</p> <p>○除草作業の省力化が一番(複数発言)</p> <p>○圃場の老朽化対策(暗渠排水・水路・畔)</p> <p>○獣(イノシシ)被害対策(里山、山際の緩衝帯)</p> <p>○経費削減しつつも資材・肥料・農薬を安価に！</p> <p>T P Pにより益々条件不利地支援をしてほしい。</p>
--	---

浜田市議会議長 原田義則 様

平成 27 年 10 月 19 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

佐々木豊治 班

代表者 佐々木豊治